

12月度支部役員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成26年12月22日（月） 15：05～17：30

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 小坂支部長

常 議 員 飯 田、上 田、小 椋、北 村、徳 岡、北 後、渡 辺
大 淵、小 林、塚 越、梶 井

支部監事 上 田、服 部

事務局 児 玉

【審議事項】

（1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（2）12月度本部学術推進委員会報告

- 12月3日(水)に開催された本部学術推進会議は、当支部代表の竹山常議員が欠席されたので、本部から支部に送られた予定議案書により内容の確認を行った。

（3）支部報告 1. 事業報告

2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。
- 会計報告にある、「当期経常増減額」については、次回の役員会にて内容の説明を行うこととした。

3. 2014年度 大会(近畿)収支決算書(案)－理事会提出書類の報告

- 1月度理事会に提出される決算書に記載する最終の剰余額については、関係協力機関からの助成金・補助金も含めた額の書類を提出することが報告された。
- 理事会での説明にあたり、補助金・助成金を申請することに至った経緯は、予算書の作成段階では使用教室に掛かる経費の増加に比例して、人件費などの関係する費用も増えたために、事務局では収支バランスに問題が発生した場合の対応を考えての行動あることが報告された。
- 剰余金の最終処理については、支部財政が厳しい状況であることから、理事会には支部の財源とすることを認めていただくよう説明することとした。

（4）2015年日本建築学会大賞業績候補推薦の件

- 鈴木計夫君（大阪大学名誉教授）の推薦書類については承認され、本部へ提出することとした。

(5) 当支部研究委員会からの報告(平成27年度各部会費決定の件)

- 小椋術常務幹事より、支部役員会の前に開催された研究委員会にて、来年度の各研究部会予算および当支部空気環境部会の小林知弘幹事からの若手会員を対象とした活動についての説明を受けて後に審議をした結果の報告があった。
- 支部役員会の席上にて最終の確認をした結果、各研究部会の予算案は承認された。
- 当支部常置研究部会に若手会員の活躍と交流の場を設けられるよう、今後も各部会の主査と幹事へ依頼することが認められた。

(6) 支部職員体制と人件費の見直しについて

①正職員の役職と役職手当率について

- 正職員の事務長職と主任職(新設)に関する審議が行われ、主任職については事務所内業務の責任のある立場と自覚を明確にするために設置することが認められた。
- それぞれの手当率と来年度の基本給について慎重に審議した結果、事務長の意向も確認したうえで承認された。
- 実施については、当支部正職員の給与・退職金規程を改正して平成27年4月1日からとすることが承認された。

②パート職員の勤務日数(週単位)について

- パート職員の業務内容と本会の全支部における職員体制からして、当支部パート職員のあり方について検討された。
- パート職員の勤務日数は、土・日・祝日(研究発表会および主要行事は振替休暇とする)を除く週4日以内に統一することが、事務長にも確認したうえで認められた。
- 実施については、雇用契約書を修正して平成27年4月1日からとすることが承認された。

(7) 平成27年度収支予算の件

- 事業計画(案)の内容に関する説明が事務局からあり、原案を承認することとした。

(8) 平成27年度事業計画の件

- 事務局にて事前に本部財務部と調整した内容も含めた来年度予算案の説明があり、原案を承認することとした。

(9) 今年度の当支部主催事業について

- 4月20日(月)に開催する当支部主催シンポジウムにの内容について、北村常議員および小椋常議員より説明があり、開催については承認された。

○シンポジウム<環境が形態を決める> —建築・エンジニアリングの最前線—

- 期 日 4月20日(月) 13:30~17:00
- 会 場 常翔学園大阪センター 301+302教室

(10) 本部災害委員会からの当支部代表委員推薦依頼の件

- 支部長より、現在の委員である西山峰広委員へ継続の意思について確認した結果、本人より継続を承諾するとの回答を受けたことが報告された。
- 審議の結果、西山峰広君を引き続き当支部代表委員とすることが認められた。

(11) 所有者移転に伴う保存要望書提出の件

○旧塩野義製薬中央研究所本館の建物の保存活用に関する要望書

- 支部長より所有者が変わったことに伴い、当支部近代建築部会（主査・笠原一人氏）で作成された要望書および見解文についての説明があった。
- 出席役員からは書類についての訂正などの意見は無く、要望書類の提出は承認された。

(12) 後援名義借用依頼の件

- 次の後援名義借用事業の3件については承認することとした。

① 講習会「木造住宅耐震診断・耐震改修入門コース」

- 期 日 12月11日、1月15日、22日、29日
- 会 場 大阪府建築健保会館、日建学院梅田校
- 主 催 大阪府建築士会

講習会「タイルの歴史と今後、そして課題と対策」

- 期 日 3月6日
- 会 場 大阪府建築健保会館
- 主 催 大阪府建築士会

② 特別講演会「巨大地震災害とどう向き合うか」

- 期 日 2月16日
- 会 場 大阪大学中之島センター10階 メモリアルホール
- 主 催 災害科学研究所

③ プロジェクト研究会「都市計画—その歴史に学び、次代に対応しうる仕組み・制度を考える」

- 期 日 1月23日
- 会 場 立命館大学 大阪梅田キャンパス
- 主 催 人地域デザイン研究会

【報告事項】

(1) 当支部事業委員会新任委員（平成27年1月～4年間）について

- 北村常議員(事業常務幹事)より、平成27年1月1日より就任する新任委員(18名)について報告があった。

(2) 2015年日本建築学会文化賞候補業績推薦書類について

- 12月15日に本部へ提出した佐藤治男氏（左官(古式京壁)の国選定保存技術保持者)の推薦書類について梶井常議員から報告があった。

以 上